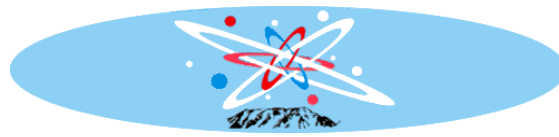


富山みらいロータリークラブ

WEEKLY REPORT



国際ロータリー第 2610 地区

2022. 8. 2 発行

No. 5

創 立 1997. 6. 4

承 認 1997. 6. 18

2022-2023 年度 R I テーマ “ IMAGINE ROTARY “

～ イマジン ロータリー ～

第 1153 回 例会の記録

2022 年 7 月 26 日 (火) 例 会 場 オークスカナルパークホテル富山 2 階 鳳凰東・中の間

司 会 濱田 S A A

開 会 点 鐘 島谷会長

ソ ン グ 「 それこそロータリー 」 「 未来のために 」

四つのテスト唱和 島谷会長

ゲ ス ト 紹 介 富山市企画管理部企画調整課 主幹 東福 光晴 氏

米山功労クラブ 第 24 回

米山功労者表彰 吉田誠会員 (第 18 回メジャードナー)

誕 生 日 祝 遠藤会員 (7 月 29 日) 中村厚会員 (8 月 1 日)

出 席 報 告

【総員数: 75 名】

※ () 内はメーキャップ人数

当 日 (7 月 26 日)	52 (1) / 75	出席率 69.33 %
前々回 (7 月 12 日)	56 (5) / 75	出席率 74.67 %

幹 事 報 告

林清滋幹事より

- ・新型コロナウイルス感染者急増による対応について
- ・本日の食事メニュー (地産地消) について
- ・8 月 21 日 (日) 開催の立山登拝出発式およびふるさと富山美化大作戦の出欠について
- ・前年度地区大会 DVD について (ご覧になりたい方は事務局へ)

地区委員会報告

林清滋地区職業奉仕小委員より

- ・7 月 17 日 (日) に行われた第 1 回地区職業奉仕小委員会について
- ・誕生日、ありがとうございます
- ・遅刻のおわび
- ・早退申し訳ありません
- ・早退失礼いたします。オーケストラ、よろしくお願いします。
- ・早退おわび

卓 話

富山市企画管理部企画調整課 主幹 東福 光晴 氏

「 多様な主体による連携と SDGs 」

閉 会 点 鐘

島谷会長



米山奨学生の
ファムティトゥ チャン さん



米山功労者表彰の
吉田誠会員

遠藤さん
山崎さん
小林さん
藤田さん
森本さん

本日 第 1154 回例会プログラム

2022 年 8 月 2 日 (火) 於: オークスカナルパークホテル富山 2 階 鳳凰東・中の間

映画監督 伊林 侑香 氏による卓話
「 “幻の蜚” は見つけれられたのでしょうか? 」



◆ 富山市企画管理部企画調整課 主幹 東福 光晴 氏による卓話 ◆



「 多様な主体による連携と SDGs 」

SDGs 未来都市 TOYAMA 多様な主体による連携と SDGs 富山市企画調整課 東福 光晴 TOYAMA CITY	世界が抱える気候変動リスク 異常気象や「数十年に一度」と言われる災害が毎年のように発生 熱波 大型台風① 大規模な森林火災 大型台風② TOYAMA CITY	国際紛争の激化 TOYAMA CITY
SDGs(持続可能な開発目標) TOYAMA CITY	ポイント① MDGsからの発展 2001～2015年 MDGs ミレニアム開発目標 Millennium Development Goals 2016～2030年 SDGs 持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals 8ゴール・21ターゲット (シンプルで明快) 途上国の目標 国連の専門家主導 17ゴール・169ターゲット (包括的で、互いに関連) 全ての国の目標 (=ユニバーサリティ) 国連全加盟国で交渉 実施手段(資金・技術) TOYAMA CITY	ポイント② 共通言語としての5つのP People(人間) Prosperity(豊かさ) Planet(地球) Partnership(協働) Peace(平和) TOYAMA CITY
ポイント③ 包摂性 ～ダイバーシティ&インクルージョン～ As we embark on this collective journey We pledge that no one will be left behind 我々は、この共同の旅路に乗り出すにあたり誰一人取り残さないことを誓う。 We are determined to end poverty and hunger and to ensure that all human beings can fulfill their potential in dignity and equality and in a healthy environment 我々は、貧困と飢餓に終止符を打ち、尊厳と平等の下に、健康な環境の下に、全ての人が持てる能力を発揮できる様にすることを決心する。 TOYAMA CITY	ポイント④ 大胆な変革 2015年9月25日第70回国連総会で採択 (国連文書A/70/L.1を基に外務省で作成) 仮訳 我々の世界を変革する： 持続可能な開発のための2030アジェンダ 本文 このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求するものである。我々は、繁栄の範囲を定め、あらゆる形態の貧困と飢餓を排除することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000101402.pdf (全8ページ) TOYAMA CITY	ポイント⑤ 環境・経済・社会の相互連関(インターリネージュ) 経済 社会 環境 経済発展には「豊かな自然環境」「安定した社会」が必要 TOYAMA CITY
ポイント⑥ バックキャスティング 図1 バックキャスティング 望ましい未来の姿 バックキャスティング (Backcasting) 現在の成長軌道に照らされる未来 フォワードキャスティング (Forecasting) 出典:「事業構想Webサイト」より アポロ計画(1960年代) 未来を共に創造する=未来共創 TOYAMA CITY	ポイント⑦ ESG投資 業績(売上、株式配当等)や財務状況(キャッシュフロー、負債等)をはじめとする財務情報に加えて、非財務情報であるE(環境)・S(社会)・G(企業統治)の観点から、企業の事業活動や将来性を分析・評価し、投資先を選別する手法 E 地球環境に配慮した事業活動を展開しているか environment S 働きやすい職場環境の整備に努めているか social G 健全な企業経営に向けた管理体制を構築しているか governance TOYAMA CITY	SDGsの達成状況(日本) 2022年版で第19位(163か国中) TOYAMA CITY
富山市内の連携事例～トヤマファーマーズマーケット～ 環境に配慮した農産品や加工品、工口雑貨などを販売。農家と消費者をつなぐとともに、「エンカル消費」の意識も高め、持続可能な社会を目指す。 (主催)Toyama Farmers Market実行委員会 ◎フォーレスト八尾会 ◎ハマ企画 ◎黒崎屋 SDGsの勉強会での「出会いがきっかけで共同実施へ。 ▲ホームに合わせ、富山県総合運動公園で令和3年9月26日に開催 TOYAMA CITY	富山市内のSDGs 取組事例 ～フードロス削減アクション～ ①未利用野菜・果物の即売会 県内農家等から集まった未利用野菜・果物等17種類(たまねぎ・にんじん・小松菜・ナス・トマト・卵等)を「KNB大バザール」の3ヶ所(富山県庁・富山県立総合体育館・富山県立中央図書館)で販売。売上の全額が農家支援と24時間テレビチャリティへ。 ②フードドライブ 「KNB大バザール」でフードドライブを実施。集まった241点は県内の社会福祉協議会へ寄贈。 ③富山スムージーの商品化 県内の未利用野菜や果物を有効活用しつつ、健康づくりに貢献しようとして、スムージーやスーベにしてイベント等でテスト販売。県内農家・卸・販売所・医療機関・KNB等が協議会をつくり、「富山スムージー」として商品化を目指す。 TOYAMA CITY	富山市内の連携事例～資源を再利用した花プロジェクト～ 会社(グループ)の特徴を活かし、「資源の再利用」と「SDGs」に興味・関心を持ってもらう機会に。 TOYAMA CITY

富山市内の連携事例～富山市SDGsツアー～

富山市SDGs推進コミュニケーターが、同くコミュニケーターを取得した仲間とともに、各施設でのSDGsの取組みを現場で発信し、体感した参加者のまなび・きづき・行動につなげるツアー（主催）有限会社西部トラベル 見学先例 共に生きる取組み
 ◎ささづ苑がすがが（高齢者支援）
 ◎はぐれ雲く（不登校・引きこもり支援）
 ◎久遠チョコレート富山店（障害者支援）

「つながる・ひろめる・みんなてつくる」をキーワードに点と点をつなぎ、ツアーという線・円にして、コミュニティを創出していきます

▲令和4年富山市SDGsツアー内でツアーを進行。反響を呼び、各団体向けに親切なツアーも実施中。

まちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

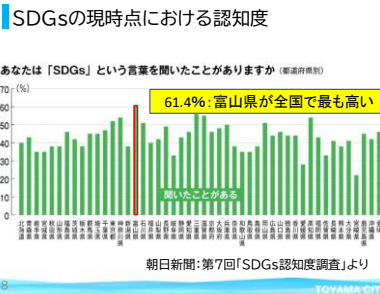
＜概念図＞
 富山市が目指すお団子と串の都市構造
 串：一定水準以上のサービス
 お団子：串で結ばれた徒歩圏

＜実現するための3本柱＞
 ①公共交通の活性化
 ②公共交通沿線地区への居住推進
 ③中心市街地の活性化

富山市が目指す「まちの将来像」取組方針～

【目指す将来像】コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現

【取組方針】
 ①都市のかたち：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現
 ②市民生活：ヘルシー＆交流シティの形成と質の高いライフ・ワークスタイルの確立
 ③エネルギー：セーフ＆環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築
 ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造
 ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上



SDGsサポーター／推進コミュニケーター

SDGsを自分ごととして捉え、実践を行うための「富山市SDGsサポーター」の登録を2019年度から開始

SDGs関連イベントなどの情報提供や、各自の具体的な取組を集約し、SDGs優良事例として新聞やホームページで紹介

※2022年2月末現在
 6970名、270団体・企業が登録

地域・職場等でSDGsを広め、自ら実践する「富山市SDGs推進コミュニケーター」養成講座を2020年度から開始

コロナ対策として、オンラインの受講を併用
 ※2022年2月末現在
 102名を認定

アクション①

SDGsで複数課題の同時解決を図る

中期経営計画など、SDGsのゴールにどう関連づいているのかを把握（ラベリング）

×「SDGsは〇〇の部署の仕事」というレッテルを貼る
 ○自分の部署だけで解決できない課題は、他部署とも連携し、解決方法を模索する

スマートフォンアプリ「とほ活」(R11.11.1～)

・歩く行動に対する楽しみやインセンティブを提供するスマホアプリを開発
 ・市民の行動変化を起こすきっかけづくりを支援

①歩数でポイント
 スマートフォンアプリを起動し、歩数の取得を開始。歩数に応じてポイントが貯まります。
 ※1歩＝1ポイント（※1歩＝約2.5センチメートル）

②公共交通利用でポイント
 駅名やバス停名を登録し、バスや電車の利用履歴からポイントが自動的に付与されます。
 ※1回乗車＝1ポイント（※1回乗車＝約100円相当）

③イベント参加でポイント
 まちづくりのイベントやワークショップに参加するとポイントが貯まります。
 ※1回参加＝1ポイント（※1回参加＝約100円相当）

貯めたポイントを使って、市内の店舗で商品が購入可能。商品は市内17店舗の限定品や限定数量品。地元百貨店の商品等、地産品、スポーツ観戦券など。

「チームとやまし」

・市民総参加で取り組む、地球温暖化の防止に向けたプロジェクト
 ・環境モデル都市の選定（平成20年）を受け、環境省の「COOL CHOICE」に先駆けて、個人、事業所、学校・家庭が自主的にチームを結成し、各自のCO2削減目標の達成に向けた行動を実践

1,279チーム、26,551人（令和3年度末実績）

＜これまでのCO2削減量＞
 累計 29,081 t
 ※スギの木（樹齢80年）に換算すると、2,077.214本分のCO2吸収量に相当

＜ロゴマーク＞
 COOL CHOICE
 脱炭素社会の実現につながるエコスタイルやライフスタイルの選択、製品の買換え等の「良い選択」を推進する取組み

「エコケロ」と「とほすけ」は 友だ達関係を結びました

「エコケロ」と「とほすけ」は、それぞれ「環境」と「生活」をテーマにしたキャラクターで、市民の行動変革を促す役割を果たしています。

アクション②

長期的な時間軸で企業の未来を考える

未来の視点で、バックキャストして、現在の課題を可視化

OESGの視点で、中長期的に捉える

ゼロカーボンシティ宣言 ～「脱炭素なまち」の形成～

2020年10月、菅首相による「2050年カーボンニュートラル（CO2排出実質ゼロ）」の表明

富山市は「コンパクトシティのネクストステージ」として、環境政策のさらなる強化により、持続可能なまちづくりの深化を図るため「ゼロカーボンシティ」を表明（2021年3月1日、県内5都市目）

ゼロカーボンシティの表明と同時に、「富山市エネルギービジョン」を策定

アクション③

ステークホルダーとの「共創」マインドをもつ

当事者が「Win-Win」になる方策を「対等」な立場で検討

○マルチベンefitsの視点で、課題解決策を模索する

パートナーシップ

社会課題の多様化

SDGsの推進
 ・北陸電力株式会社(R1.7.1)
 ・株式会社北陸銀行(R1.8.9)
 ・日本ガス株式会社(R2.2.21)
 ・三井住友海上火災保険株式会社(R2.10.2)
 ・富山信用金庫 (R3.1.29)

まちづくり
 ・株式会社カターレ富山 (R3.7.13)

（1）内は、協賛開始日

SDGs自動販売機設置 <全国自治体初>

「フードロス削減」に向けて、北陸コカ・コーラボトリングと本市が連携協定を締結
 市役所1階市民ホールにSDGs自動販売機を設置

賞味期限が近い余剰在庫の製品をフードロス対策として並べ、割安な価格（1本80円）で販売・売上の一部は市に寄付され、SDGs関連事業として活用

アクション④

地域（学校・住民）での学び、気づきに寄り添う

一人ひとりのSDGsアクションは多種多様

×「前例がない」「うちの会社には関係ない」と門戸を閉ざす
 ○地域が「自分ごと」として捉えてもらうための働きかけ

藤ノ木校区自治振興会

令和3年5月16日に出席講座を実施
 藤ノ木校区自治振興会として、「SDGs宣言～住み続けられるまちづくり～」を行い、8月に常陸守河川河敷の清掃とレクリエーションを兼ねた「SDGs花火大会」を実施

（まとめ）SDGsの本質 ～自由意志～

「われわれ人間の自由意志は奪われてはならないもので、かりに運命が人間活動の半分を思いのままに裁定したとしても、少なくともあとの半分が、半分近くは、運命がわれわれの支配にまかされてくれている」と見るのが本当だと、私は考えている」（第25章「運命」より）

君主論
 マキャベリ

「機会の扉」が開いたときの人間の自由と責任は重い！

（まとめ）SDGsの本質 ～未来共創～

早く行きたければ、ひとりで。速くまで行きたければ、みんなで。 If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together.

8月の行事予定

- 8月 9日(火) 五十嵐靖郎ガバナー補佐公式訪問
16日(火) **クラブ指定休日**
21日(日) 立山登拝出発式・ふるさと富山美化大作戦(於: 富山縣護國神社)
21日(日) ~ 23日(火) 第22回元服立山登拝
23日(火) 黒川伸一ガバナー公式訪問
例会終了後、第2回SDGs推進検討会議
31日(火) ビアガーデン懇親会

お知らせ

○例会変更はございません

○ニコボックス累計金額 **27** 件 **111,000** 円

○米山記念奨学会寄付金 **2** 件 **200,000** 円 (特別寄付金累計金額 24,671,681 円)

○R財団寄付金 **0** 件 **0** \$

○ロータリー適用相場のお知らせ 1ドル **133** 円

2023-2024 年度派遣交換学生 募集要項

● 応募資格:

1. ロータリークラブの推薦するロータリアンの子弟、もしくはロータリークラブが指定する高校の公募による優秀な高校生。
2. 出願時に高校1、2年生であり、出国時(翌年8月)に17歳6ヶ月未満のこと。
3. 本人および家族が本プログラムの主旨を十分に理解し、帰国後もホスト家庭となり、この事業の推進に協力できること。
4. 1年間の留学生活に耐え得る健康な身体と精神を持ち、若き親善大使としての役割を果たせる生徒であること。
5. 中学および高校での成績が中以上であること。

● 定員と派遣先国:

募集定員は10名程度。ただし、2021年の合格者から応募があった場合は優先的に合格とします。派遣先はアメリカ、カナダ、オーストラリアが中心です。

● 応募者の選考:

9月11日(日)に学力テストおよび保護者同伴の面接試験を実施し決定する。
ただし過去に留学生の受入経験のある家庭を優先する。

● 留学期間と費用:

留学期間は8月から翌年7月までの1年とする。
費用は受入クラブの指定する都市までの往復航空運賃は本人負担。
生活はホスト家庭の一員として待遇される。
学費、月額8,000円程度の小遣いがホストロータリークラブから支給される。

● 派遣国の決定:

生徒の希望は参考として伺いますが、最終決定は地区委員会がおこないます。

● 申込期限:

2022年8月31日(火)までに必着のこと。(所定の申込用紙を使用のこと)

● 申込書ダウンロード先: <http://www.rotary2610yep.jp/send/>

*** 申込みをされる場合は、事務局へご連絡ください**

例会日: 火 曜 日
12時30分

例会場: オークスカパークホテル富山

事務局: 〒930-0858 富山県富山市牛島町11-1 オークスカパークホテル富山5F
TEL・FAX (076) 441-2824 事務局携帯電話 090-5683-3660
E-mail: info@toyama-mirai.net
URL: <http://www.toyama-mirai.net>